

全国どこでも誰もが快適に暮らせる社会 の実現

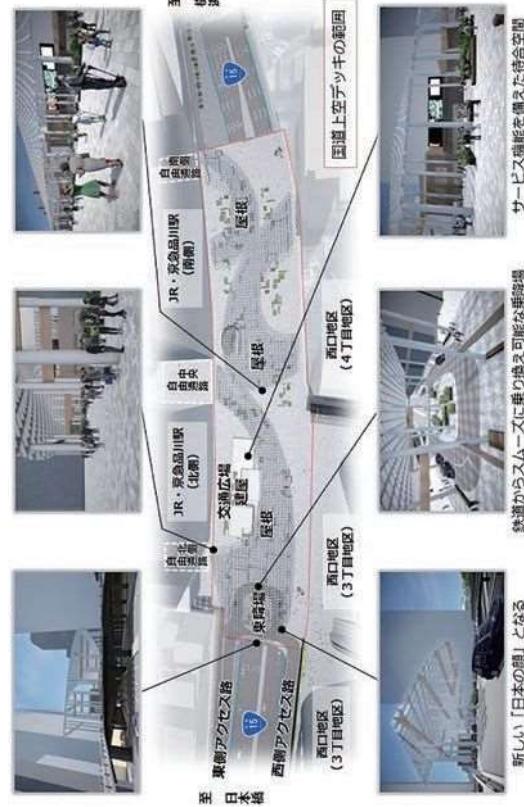
～DXの推進と多様な連携の促進による地域マネジメントの実践～

全国各地の都市・地域では、人口減少・高齢化が進んでおり、関係人口の増加や産業振興・雇用の創出等、地域課題の解決が求められています。また、地球規模での気候変動が深刻化する中、環境保全・脱炭素化に向けた取組を加速化する必要があります。私たちは、「全国どこでも誰もが快適に暮らせる社会」の実現に向け、DXの推進と多様な連携の促進による地域マネジメントを実践してまいります。



都市政策・都市開発・建築

都市全体のあり方から、地域マネジメントまで一貫して携わることで地域のニーズに合った美しく快適なまちづくりを進めています。
また、当社の強みである交通技術や拠点づくりをベースに、政策提案、経済分析を加え、よりよい社会を実現する仕組みを支援します。



出典：関東地整東京国道事務所HP（弊社実績）
<https://www.ktr-mit.go.jp/toukoku/toukoku00340.html>

ウォーカブルなまちづくり
池袋駅周辺のウォーカブルなまちづくり推進
池袋駅周辺の歩行者優先のまちづくりの実現に向けて、池袋工団における「人」が生む「力」がまちづくりのコセイとなる市民や事業者の方々が分りやす伝える「いがく」が「CONCEPT BOOK」を作成支援しました。また、具体的地元主催のウォーカブルプロジェクトとして、「ピカーショー」が実施（2023年2月から日本初区内の有料駐点料金なし）などでも活動するサービスとして実装化や道筋空間を活用した飲食店（ベイ）等を複数工団の地元商店街・飲食店事業者など協働で企画実施、工団のウォーカブルなまちづくりを一例にコーディネートしています。



大規模ターミナル駅周辺整備の計画

品川駅西口駅前広場整備プロジェクト

品川駅西口に、多様なモビリティへのシームレスな乗換を可能とする人が主役の都市交通ターミナルを目指し、国道15号上空を活用した道・駅・まちをつなぐ駅前広場の整備を進めています。プロジェクトの企画から事業化に向けた支援を継続的に行い、令和5年6月には、「デザインコンセプト」として、今後の整備の方向性が示されました。引き続き、その後の実現に向けて、周辺開発とも連携したデザインや交通計画、官民連携による事業手法等、多様な課題に取り組んでいます。



国地地域活性化方策検討

多摩ニュータウン諏訪・永山地域活性化

50年を経過した諏訪・永山地区において、持続可能な国地施設等の活用や地域社会の形成を目指し、地域関係者等と連携を図り、団地施設や屋外空間を活用した新たな地域の居場所づくりを取り組んでいます。活用にあたっては、住民の方に団地内にある様々な空間（空き室や公園、小学校の解体工事で建てられる鋼板塀等）に新たな価値を見出してもらえるよう、コンセプトを企画し、実証実験として実施しました。



大規模ターミナル駅前広場の整備

横浜駅西口駅前広場

歩きやすい歩行空間や待合せ空間の確保等、横浜の玄関口に相応しい駅前広場整備事業に関し、当社は横浜駅中央西口及び西口全体の一体的な交通計画を行い、整備計画～設計を一貫して行いました。



結節点事業マネジメント

金町駅北口周辺地区 基盤整備推進計画策定業務支援

利用客が急増し、駅前広場や歩行者空間の整備が急務となつてきる葛飾区金町駅周辺において、基盤整備事業推進に向けたマネジメントと、まちづくり協議会活動による事業進捗支援を実施しています。



景観・ランドスケープ／歴史・文化

地域の自然環境・歴史文化を大切に守り、育て、次世代へ引き継ぐため、景観まちづくりをはじめ、構造物のデザインやランドスケープデザインを行っています。また、後世に歴史をつなぐため、土木遺産の保存と利活用の取り組みも行っています。



ランドスケープデザイン

川原川・川原川公園

東日本大震災で甚大な被害を被った陸前高田市高田地区は、宅地地盤全体を嵩上げする土地利用計画が策定され、川原川公園が組み込まれました。陸前高田の自然・文化・記憶の継承の軸として、川原川と川沿いに配置された公園を一体的な空間としてデザインし、嵩上げされた街どつねたプロジェクトです。当社は、プロジェクト初期から公園設計・橋梁設計で関わり、2022年土木デザイン賞最優秀賞を受賞しました。



公園のデザイン・設計・監理

Waiwallドームしまつま

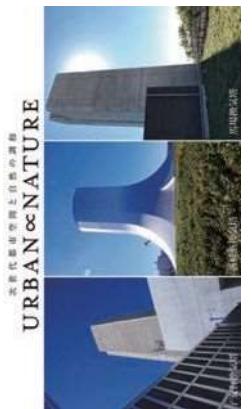
「中心市街地の大規模遊休地を活用したまちなか広場です。市民ワークショップによる地域の声を反映し、屋根付多目的広場、地域交流センター、調整池を有効活用したエクストリーム広場等の整備による多世代の居場所をつくりました。」



路線と換気塔のデザイン

首都高横浜北線 換気塔

「高速神奈川7号横浜北線路線全体のコンセプト策定、景観検討からスタートし、新横浜換気塔・馬場換気塔・子安台換気塔については“環境創出型換気塔”としてデザインされました（2017年グッドデザイン賞受賞、土木学会デザイン賞2018最優秀賞受賞）。」



土木遺産を活かした橋梁デザイン

有明筑後川大橋

選選土木遺産（デ・レイケ導流堤）を跨ぐ橋として、世界遺産の集積地域である周辺環境や土木遺産の導流堤との連続性等に配慮した景観デザインの検討を行いました（令和3年度土木学会田中賞受賞）。

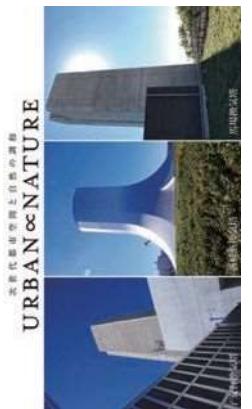


歴史展示館のリニューアル

ランドスケープデザイン

リバーポートパークミノカモ

「地球と遊べるまち」美濃加茂を代表するボテンシャルのある対象地に対し、市民と川遊びやBBQ、プレー／パークなどのプログラムを共に考え、それらを繋げるよう公園及び建築をデザインし、「人と人、人と自然が交わる多世代・多文化交流拠点」としました（2018年グッドデザイン賞受賞）。



国際

競争

観光

市場調査、参加型ワークショップ、観光振興計画策定、観光プロモーション、事業化調査(F/S)に至る觀光計画をはじめ、着地型旅行商品の開発、訪日外国人旅行者の受入環境整備事業や、誰もが安心・安心に旅行できる環境を整えるユニバーサルツーリズムの促進にも積極的に取り組んでいます。



ユニバーサルツーリズムの促進

誰もが安心して旅行できる地域づくり

高齢者、障害者など誰もが安心して旅行できる地域を作るため、受入環境整備、人材育成、プロモーション、組織・体制構築などに取り組んでいます。沖縄県においては、障害者等の接遇セミナーの企画・運営、プロモーションの実施、3世代旅行商品の造成などに取り組みました。



地域觀光に係る中期ビジョンの策定

觀光振興を通じた地域づくりの推進

全国各地において、交流人口により地域に活力を呼び込むための觀光ビジョンを手がけるとともに、沖縄県では「觀光振興の中期計画」「沖縄觀光推進ロードマップ」の運営管理を行い、沖縄県のリーディング産業である觀光振興の取り組みに持続的に貢献しています。



ラグジアリートラベルの取り組み推進

富裕層旅行者市場の市場形成に向けて

沖縄県における觀光消費額の増加、良好な觀光コンテンツの創出を目指して「富裕層旅行市場の形成に取り組んでいます。沖縄県では県内の状況を調査するとともに、「富裕層旅行代理店との意見交換を行いました。その後の取組方策と課題を整理しました。



觀光交通の取組み

沖縄県における觀光2次交通オーバンデータ整備の取組み

沖縄県内のモノレール、バス等の全公共交通情報および主要觀光地等の情報を、検索サイトや関連事業者等が利活用しやすいGTFS形式で整備を行いオープンデータとしての発信を行いました。またGoogle社へのデータ提供により、Googleマップでの乗換検索可能な環境構築を行いました。



オンラインツアーアー

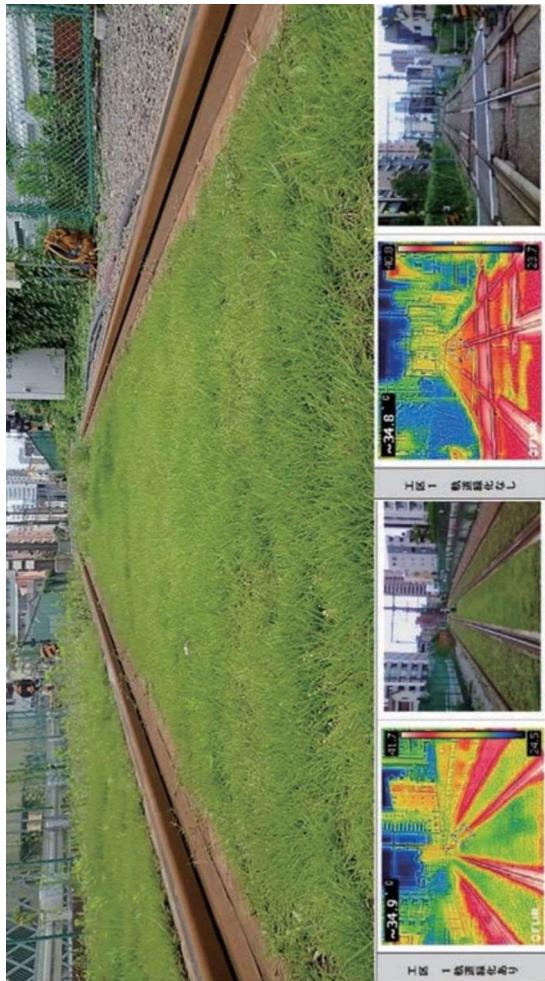
ポストコロナを見据えたオンライン誘客の推進
移動制約があるコロナ禍や、遠隔地、秘境の觀光地において、地域の魅力を発信し、相互の交流を行うオンラインツアーアーが注目されています。山梨県南アルプスにて、広域の魅力を地域の人々との交流で繋り交ぜながら紹介するオンラインツアーアーを開発し、地域への来訪促進や地域物産の情報発信を行いました。



環境

カーボンマネジメント・エネルギー

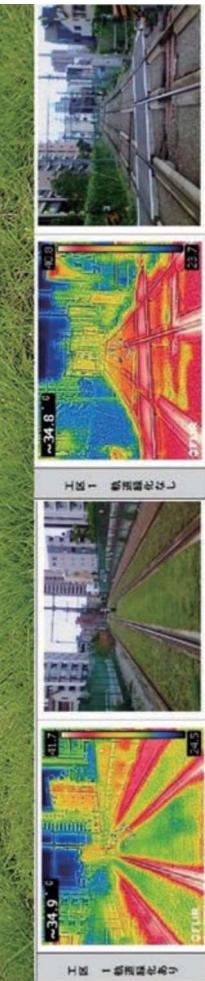
環境・経済・社会の価値のバランスの上に、持続可能な都市・地域づくりを行います。
人と自然の共存を目指し、社会環境・生活環境の保全、自然環境保全・再生、地球規模の環境問題への対応など、様々な側面から技術サービスを提供しています。
また、環境・経済・社会の価値のバランスを得ることで、持続可能性の高い取り組みを行っています。



グリーンインフラ

軌道緑化の実現に向けた現地実験

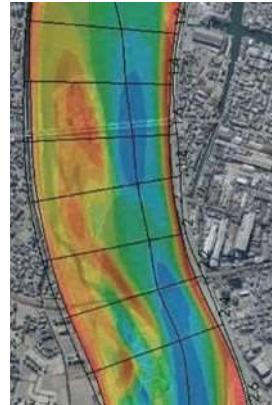
グリーンインフラの一環として、軌道緑化によるヒートアイランド現象の緩和、緑のネットワーク構築を目指し、東京都電車における軌道敷の緑化のため、植栽種や植栽基盤毎に生育状況や維持管理方法等に関する現地実験を行いました。



河川環境保全

河川改良事業における生物多様性への配慮

河川改良事業において、水害リスク低減など防災等の観点だけでなく、事業により改変される河川環境について河川生物の生息適地の観点から評価を行い、生物多様性に配慮した河川改良計画を検討しています。



グリーンインフラ

地域活性化を目指したホタル復活PJ

グリーンインフラを活用し、開成町の更なる魅力向上や、ホタルの里づくりを通じた“環境コミュニティー”的形成を目指し、指定管理業務を受託している漁戸屋敷において、令和元年6月よりホタルの飼育を行っています。



再生可能エネルギー導入計画

小千谷市錦鲤鑑賞施設等の再生可能エネルギー導入調査

小千谷市的一大産業である錦鯉の養殖の維持管理費を低減するとともに、市の魅力発信の中心となる錦鲤鑑賞施設「錦鯉の里」において、地中熱ヒートポンプなどの再生可能エネルギーの導入可能性調査を実施しました。



水環境保全

渡良瀬遊水地の環境保全調査

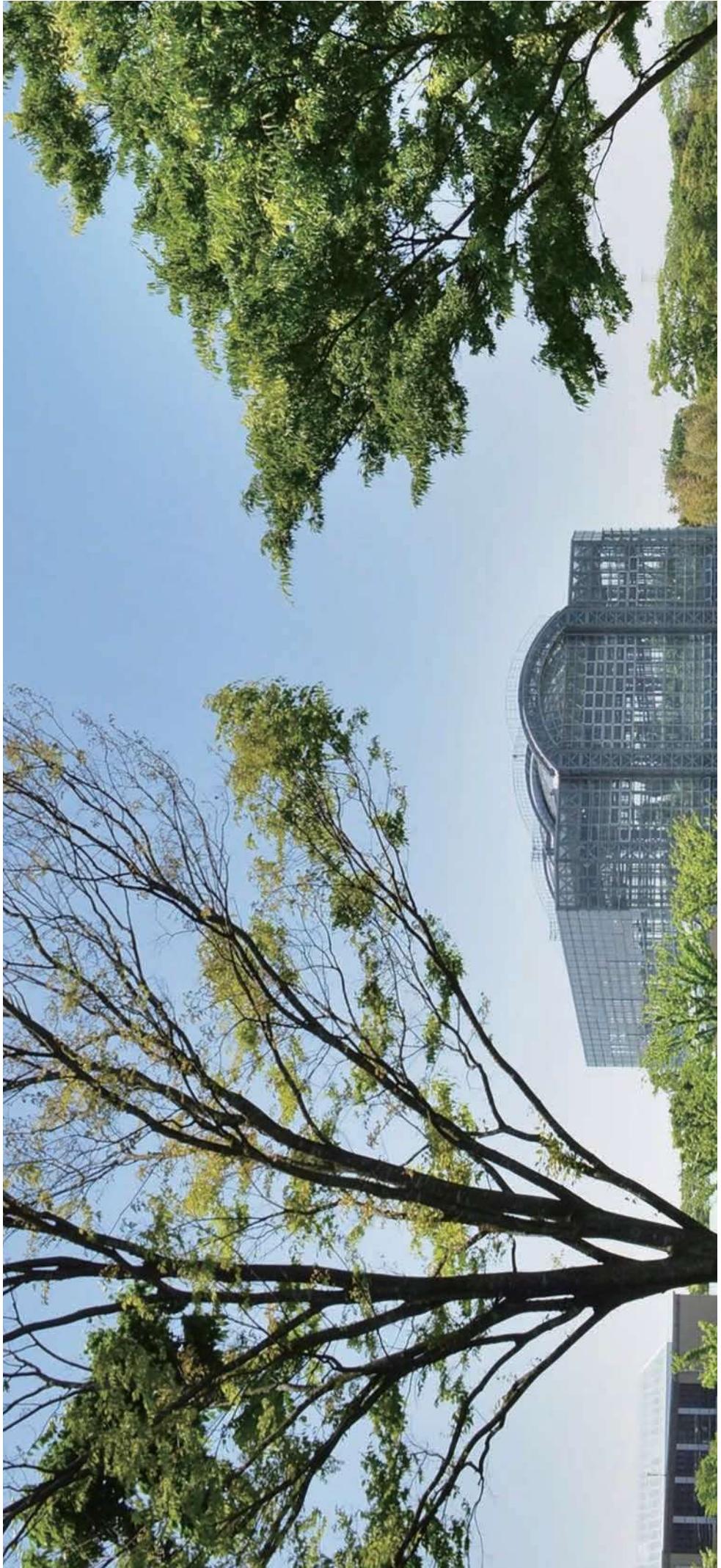
ラムサール条約湿地に登録された大規模な湿地である渡良瀬遊水地において、ヨシ焼き等の影響による植物の変化を調査し、保全対策を検討しました。



地域拠点におけるエリアマネジメントの実践

～コンサルティングと事業経営の両面から地域を活性化～

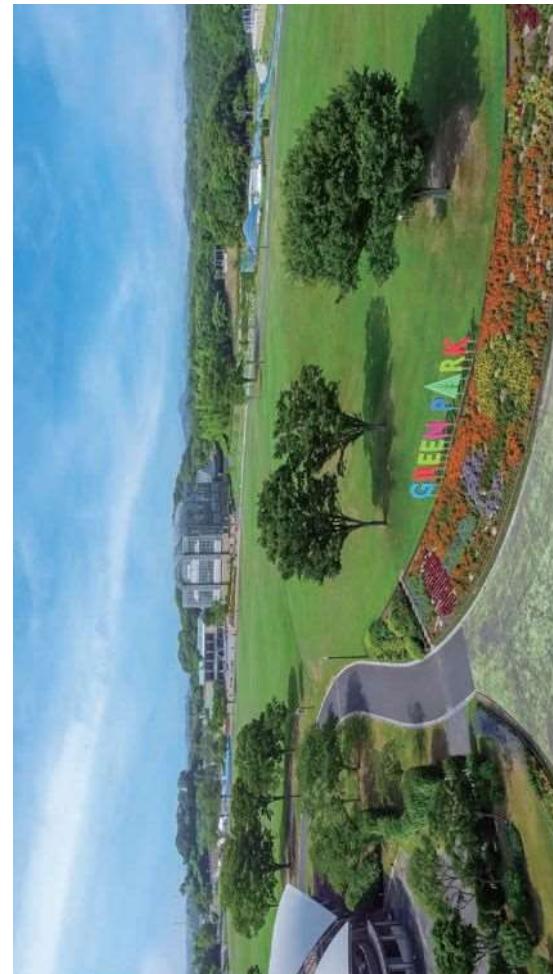
ポストコロナ時代、多くの地域において、地域特有の資源や環境を活用した魅力・個性あるまちづくりに向けた取組は加速しています。
私たちは、地域のまちづくりに関するコンサルティングと、地域拠点における事業経営の担い手の両面から地域の活性化に貢献してまいります。



総合事業・事業経営

自らが事業主体となり、事業への投資も視野に入れて事業を展開する事業経営と、あらゆる要素技術を駆使した総合事業で、地域課題を解決するだけではなく、地域の将来ビジョンを提起し、地域とともに魅力ある持続可能な社会を創造しています。

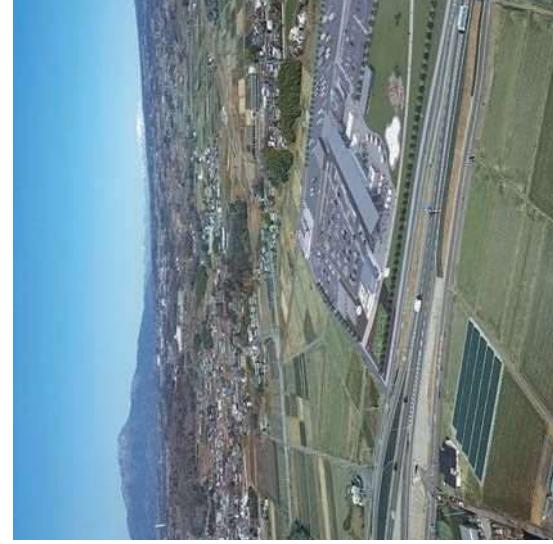
北九州エリア



公園の運営管理(指定管理者)

福岡県北九州市響灘緑地の指定管理者

北九州市で最大の有料の都市公園です。1年を通じて賑わいづくりを展開し、令和元年度は20年以上ぶりに入園者が年間51万人を超えました。公園の運営管理を通じて、地域連携を強化し、地域活性化の取り組みを展開しています。



群馬エリア

公園の運営管理(指定管理者)

地産地消カフェの運営

群馬県の運動施設である敷島公園の運営管理を行っています。全国レベルの大会を誘致するなど、公園の利用促進を図るとともに、P-PFI制度を導入し、公園の魅力を高めるための新たな施設を設置しました。



マリンスポーツによる賑わい創出

行橋市長浜公園の指定管理者

長井浜公園は途切れないとフラットな水平線の長井浜海岸と隣接しており、指定管理者を通じて海岸を活用したマリンスポーツを取り組んでいます。開設当時、西日本初のアスレチック遊具は、今も多くの子供たちに大人気です。



公園の魅力向上事業(PPP事業)

空中冒険遊具の設置運営

北九州市立響灘緑地において、自社投資によるPPP事業として、「空中冒険遊具あみ～ご！」を設置、運営し、公園の魅力向上に取り組んでいます。開設当時、西日本初のアスレチック遊具は、今も多くの子供たちに大人気です。



公園の魅力向上事業(PPP事業)

キャンプ場の整備運営

北九州市立響灘緑地における、地元放送局と設立した共同事業体によるPPP事業として、キャンプ場の設計・施工、運営を一括的に実施し、公園の新しい使い方やサービスの提供による魅力向上に取り組んでいます。



ス: 木: 県: ク: じ: 取: て、 イ:



神奈川エリア



地域プランニング事業（事業経営）

株式会社瀬戸酒造店の酒造再生による地域活性化事業

開成町北部地域活性化の核として、自家醸造を休止していた株式会社瀬戸酒造店を子会社化して酒造りを再始動しました。地域の米と水、オリジナル酵母を使った日本酒の製造、販売、体験事業の他、酒粕や麹を活用した発酵による農業6次化を展開しています。世界の日本酒コンクールで多くの賞を受賞し、2022年の世界酒蔵ランキングではTOP10にランキングされ、国内はもとより海外への輸出にも力を入れております。開成町を代表する地元企業として地域産業をけん引しています。

その他エリア



古民家の運営管理

「あしがり郷瀬戸屋敷」の指定管理者

町の重要な文化財である築300年の古民家「あしがり郷瀬戸屋敷」の指定管理者として、昔ながらの金戸や囲炉裏を活用した体験コンテンツを都心からの来訪者や外国人に提供し、地域の文化、暮らしを発信する交流拠点の役割を担っています。



農産物直売所の運営

「café hacco」の運営

「あしがり郷瀬戸屋敷」の敷地内で、瀬戸酒造店の麹や酒粕を用いたドリンクやスイーツを提供するカフェを運営しています。醤油麹つくりなどのワークショップや、地域のクラフト作家の作品の展示販売など、地域のコミュニティの場として親しまれています。



着地型観光事業／山梨県南アルプス市

株式会社南アルプスゲートウェイ設立

「あしがり郷瀬戸屋敷」の敷地を拠点として、着地型の南アルプス地域を運営する株式会社南アルプスゲートウェイが設立されました。この事業は、農産物や工芸品を販売する地域交流拠点を運営しています。季節の果物をトッピングした瀬戸酒造店の酒粕を練りこんだソフトクリームは、地域の新しい名物として人気を博しています。



宿泊

「て

宮・館・理・験・や・魅・

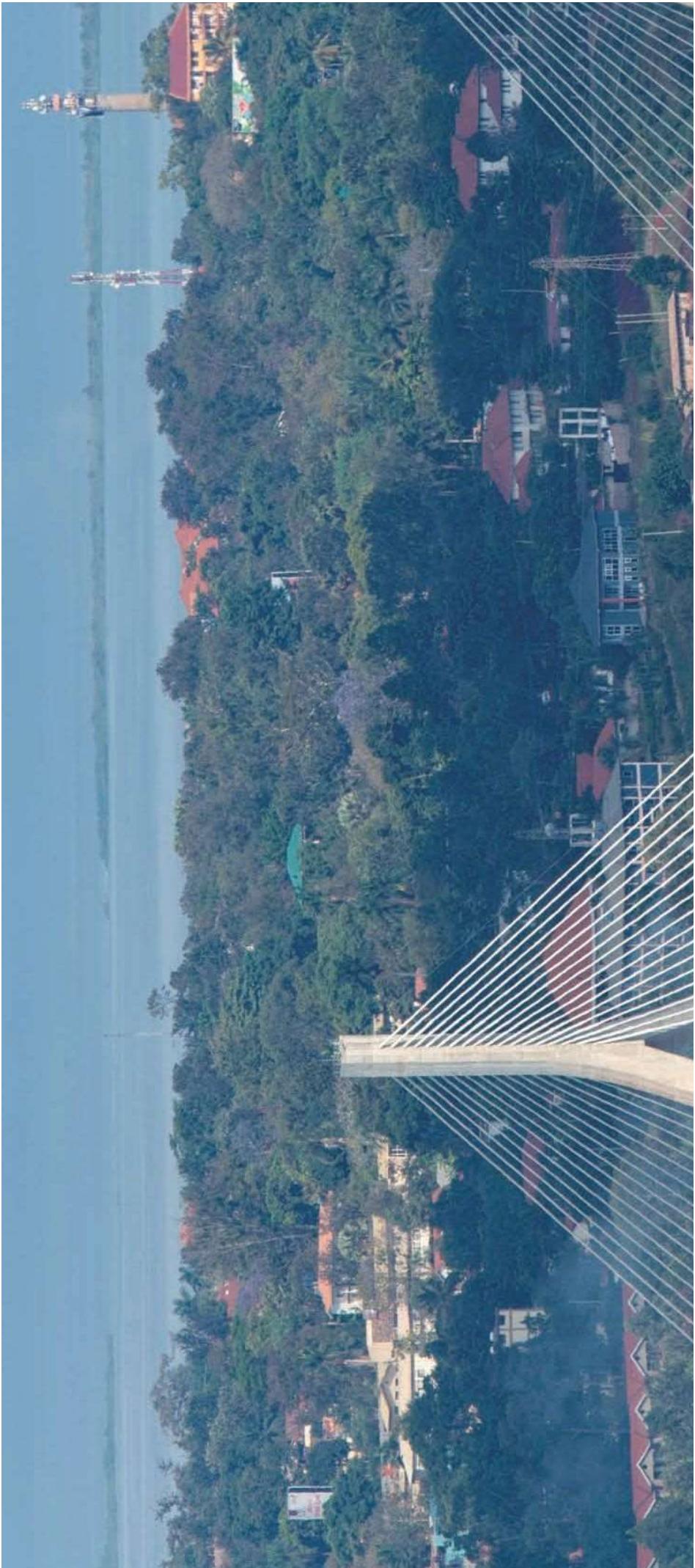


オリエンタルコンサルタントグループ

～国内で培った技術力・マネジメント力を活用し、海外に展開～

ナイール川はウガンダに位置するビクトリア湖がその源流です。シンジャ橋新設事業は、そのビクトリア湖から始まるナイール川の源流近くに建設されたアフリカ最大級の斜張橋で、ケニアのモンバナ・オリエンタルコンサルタントは国内で培った高度な専門技術力とマネジメント力を発揮してこの橋の建設に貢献しました。

私たちは、この事業の完成に貢献するためにどまらず、国内で培った高度な専門技術力とマネジメント力を発揮して、多くの国家的プロジェクトに取り組み、総合力で貢献してまいります。



海外

オリエンタルコンサルティンググループと共に海外インフラ整備事業を推進しています。
また、日本の質の高いインフラ輸出や国内企業の海外展開支援等を実施しています。



次世代型交通システム(LRT)整備

★インドネシア国:LRT 新設工事施工監理

インドネシア国バレンバン市において、インドネシア国初のLRT整備の施工管理を支援しました。バレンバンのLRTは、2018年アジア競技大会のスムーズな運営と地域発展のため、スルタン・マフムド・バダルデイン2世国際空港から、延長24.5km、全13駅が整備されています。

公共交通改善事業

★ラオス国:バスの運行改善事業

首都ビエンチャンにおいて、バス利用の促進に向けた運行改善やサービス向上に関する技術指導に参加し、バスターミナル施設などの改善計画をアドバイスしました。



海外インフラ輸出

★高速鉄道技術の海外進出

高速鉄道計画策定の実績をもとに、わが国の高速鉄道技術の海外展開の先駆けとして、各国との信頼関係構築に貢献しています。現在、インド新幹線の整備計画立案及び設計に参加しています。



国内中小企業の海外展開支援

★ベトナム国:建設発生土改良技術を活用した堤防整備の案件化調査

洪水被害が深刻なベトナムで、運河の浚渫土砂を改良し、堤防整備に活用する技術導入の案件化調査を支援しました。



国際会議運営

★アフリカ・中南米における官民セミナーの運営